

TEKU・TEKU 自主企画 活動記録
■■てくてく瀬戸内・御手洗伝建地区と軍都呉の今■■

【日 時】 2006年 6月24日(土)～25日(日)

【日程・コース】

6/24(土): ほぼ晴れ

広島県竹原港集合 13:41 発(高速船)～大崎上島・木江一丁目港 13:57 着…木江地区町並見学…天満(バス)→明石港(フェリー)～大崎下島・小長港(バス)→御手洗町並(伝建地区)見学、ボランティアガイド依頼(徒歩)→大長港 17:59 発(高速船)～呉港 19:00 頃着(懇親会、宿泊各自)

6/25(日): 雨 一時強し

朝 呉駅集合(バス)→音戸、渡船・町並み(古アパート、交流館で歴史アニメ鑑賞など)、音戸大橋経由(バス)→旧呉鎮守府庁舎(現自衛隊庁舎)、入船山公園・旧鎮守府 司令長官官舎・金唐紙等見学(タクシー)→yume タウン昼食、大和ミュージアム(海事歴史科学館)、呉駅にて解散

【参加者】のべ10名(子ども含む)

小野田美都江、千川 明、原 久子、浜田忠久、浜田想一、*平林亜希+1名、*広川祐司(呉市案内)、横堀 肇、恒川磯雄(コーディネータ) (*2日目のみ)

【評価・感想】※評価提出件数が少ないので、参考までとしてください。

■1 木江のまちなみ 評価【AABB】

- ◎木造3階の住宅が、ごく自然に存在している光景が不思議だった。
- ◎細い路地に面した木造3階建てが面白かった。
- ◎山迫る狭い土地に木造3階建のリッチさ。かつての栄華が感じられましたが、それを残すことは観光以外にはないが、観光だけでは産業が成り立たないため仕方がないのかなと思いました。
- ◎3階建ての住宅のある古い通りは時間の中で忘れられた、という感じで、異次元体験といえば聞こえがよいが…、合併で役場も去り、どうなるのだろうか？

■2 御手洗伝建地区のまちなみ 評価【AAAB】

- ◎昭和33年の新法成立(※)で時代に取り残されたという古い町並みをみると、男にとっては複雑な気持ちとなります。それはそれで、古い町並みが面的に残っているとほっとします。(※赤線廃止)
- ◎ボランティアさんの解説が興味深かった。
- ◎きれいに保存されていると思いますが、観光客を呼ぶにはもうひとつ仕掛けがほしいところ。ボランティアガイドさんの街に対するほこりと熱意を感じました。
- ◎このように、古い町並みが手入れされてきれいに保存されていること自体はすばらしいと思う。護岸と海岸道路がやや無粋なのは残念。

■3 音戸地区のまちなみと音戸ノ瀬戸の景観 評価【BBBB】

- ◎ちょっと小規模ですが、橋や海峡と相まって、不思議な空間を体験出来ました。
- ◎渡し船が面白かった。
- ◎うずしお会館のシアターの幕が開き、現在の音戸の景観がみられる仕掛けはとても Good! 観光活性化のために、バスなどのコースにしたらよいのではないのでしょうか。
- ◎不気味な古アパートにはびっくり。「交流会館」ほんとにいかにも箱物ですという感じでまたまた「勉強」になりました。

■4 呉・旧海軍呉鎮守府庁舎 評価【ABBB】

◎海軍の国際性（イギリス式煉瓦工法、各国訪問活動など）を確認することが出来た。

◎自衛隊が引き続き利用しているから作られた頃の外観を守られている。

◎軍隊や自衛隊は好きでないが、煉瓦建築の美しさを改めて、間近に実感した。説明を聞けてとてもよかった。

■5 呉・入船山記念館 評価【ABBB】

◎軍関連ということで、豊かな空間や建物が残すことが出来たという印象を持った。

◎鎮守府司令長官の権力の強さを感じる。

◎感想：金唐紙というものの存在を始めて知り、たいへん興味を持ちました。伝統技術として廃れてしまったことは残念です。

◎洋館部分の豪華さはすごい。金唐紙も洗練されたアートクラフトそのものだが、こういうありがたさは現代ではもう無理なのだろうかと思った。

■6 呉・大和ミュージアム 評価【ABBC】

◎第二次世界大戦に突入していく経緯の説明の中に、立場の違いをすり抜ける工夫が随所に見られ、興味深かった。

◎戦争に道をたどった経緯がわかりやすいビデオで説明され、勉強になりました。ただ、大和の技術が優れたという技術賛美（16日で壊れて惜しかった的、なんのための技術だったのか）のようで今ひとつ疑問を感じます。ミュージアム事態も、呉という街はかつてこんな技術があったということをいい活気づけるために作られたのでしょうか、目的がいまひとつです。

◎大和と平和ミュージアムとか、大和反省ミュージアム??などにしないと、戦艦賛美、戦争賛美にも受け取れる。

◎展示の内容は濃いが大和の1/100の模型はちょっとちやちだ。

◎細かい説明が盛り沢山だが、軍事おたく向きの施設か？ 大和の建造や出撃に関する全体像と士各種の評価（的解説）が少ないように感じた。武蔵という大和と同級の無謀公共事業がもひとつあったと知ったのは私的にはプラスだった。

■7 呉・中心部など（駅周辺や交通など見た限りで） 評価【ABBB】

◎戦災を受けた後の区画整理が見て取れ、感慨深かった。

◎大和ミュージアムと港と連続化させ一体化させていることはよい。商業施設に依存してもまちづくりは仕方がないのですが、再開発の味気なさを感じましたが、利便性は向上したのでしょうか。

◎地形の関係もあろうが、中心部（駅や港）の一角に様々な施設が（今も昔も？計画的か偶然か？）集中し、結果的には便利で、衰退防止にもなっている（広島市に流出・吸収はあるのでしょうか）。

■8 その他

（1）木江・御手洗など離島の町並みの保全・活性化について何かあれば

◎住む人が伝統的な家に住むことが快適になり、誇りに思えるような工夫が必要だろう。

◎御手洗のしかけのひとつとして、観光とはいえないかもしれませんが、かつての女性たちの悲惨な状況など、フェミニズムの人たちと考える場にしたらよいと思いますが。（ちょっと怖そうですが）高知の「なめたらあかんぜよ」などともネットワークをして。

◎ゆったりとした生活を志向する人（高齢者？）を、外部から呼びこむくらい考えないと…、今ある家屋のうち可能な物を維持修繕して利用できるようにすること。

（２）呉地域の旧軍関係施設の観光資源化（現状や注文等）について何かあれば

◎I H I の屋根付きドッグを公開すればいい。

◎現在使用しているので仕方ありませんが、内部の見学できればありがたかったです。

◎大和ミュージアムで一段落なのだろうが、既存の史跡と有機的に関連づけること。「平和」「反省」の視点を重視し続けること。

（３）その他、今回の企画に対する意見・感想など

◎人数も少なかったですが、その分いいコミュニケーションが図れたと思います。

◎２日目、雨だったので呉の町並みをあまり見られず残念だった。

◎呉の軍港をいうのを海上からみて、こんな景色が日本にあったのかと異様に感じました。日本が明治以後富国強兵の名のもとに進んできたことを、歴史と風景を通して体感した思いです。

◎瀬戸内海の島々の面積が大きいこと、また島々が立派な近代技術である橋でつながっていること（瀬戸の島々は小船でというイメージがあった）にも驚きました。

◎東京にいと瀬戸のことを考えることはほとんどありません。「百聞は一見にしかず」がモットーの私にとって、ここ数回の瀬戸周辺企画で瀬戸をコンシャスの第一歩となりました。

◎今回は、浜田さんのご幼少の頃や学生の頃の臨場感のあるお話を聞きながらの見学は、街をより立体的に深く感じ、大変勉強になりました。やはり街は人々の生活あつてのものと思いました。

【コーディネーターから】

■遠路参加していただいた方、お疲れ様でした。また、浜田さんにはご出身地ということで、案内もしていただきました。さらに、御手洗と入船山公園では地元ボランティアの方に、音戸では広川さんに案内していただくなど、多くの方のお世話になりました。関係各位に感謝申し上げます。

■今回は離島を含む地域であり、どのように行程を組むか悩ましいところでしたが、結果的にはぎりぎりグッドタイミングのローカルバス（２カ所！）と高速船・フェリーを駆使して、瀬戸内の中央部を効率よく回ることができました。初日は好天で幸運でしたが、２日目は大雨で、足下びしょびしょでご苦労さまでした。横堀研究室ご出身の美女お二人も大雨中の参加ありがとうございました。

■もう少し呉の中心市街地や煉瓦通りなども見たかったのですが、天候のため行けず残念でした。また、今回参加されなかった方も、是非御手洗・呉へお越し下さい。いろいろな興味深い発見が多々あるのは間違いない地域です。（恒川記）